座面電動昇降機能付き車いす HAPPYMATE（ハッピーメイト）

R-426A / R-426FO 取扱説明書

目次

まず、梱包内容を確認ください。以下のものが梱包されています。

1.　車いす本体
2.　背シート（背中に当たる布シート）
3.　バッテリー
4.　充電器
5.　取扱説明書（本冊子および車いす取扱説明書）
6.　スパナ

このたびは座面昇降機能付き車いす HAPPYMATE をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、安全にご使用ください。
なお、この取扱説明書は主として、昇降機構および関連する部分について記述しております。一般的な車いすの取扱いにつきましては、添付の「車いす取扱説明書」をご覧ください。

1. 取扱注意事項

ご使用の前に必ずお読みください。なお、バッテリー、充電器、充電のしかたについては、8 ページに注意事項をまとめていますので、そちらをお読みください。
取扱注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
他の人に貸し出す場合は、いっしょにこの取扱説明書と添付の「車いす取扱説明書」もお渡しください。

⚠ 警告

1．ペースメーカーを使用している方は本商品を使用できません。また、ペースメーカー使用者のごく近くでは使用しないでください。
2．搭乗者体重（100kg）は積載物も含んだ重さです。体重制限を守って使用してください。
3．タイヤの空気圧をチェックしましょう。空気圧が低いと、ブレーキが効かず、大きな事故につながることがあります。
4．走行するとき以外は常にブレーキをかけておきましょう。特に車いすへの乗降時や座面昇降時にブレーキをかけておかないと、転倒による事故が起きやすくなります。
5．座面が上がった状態のとき、ドスンと座ると、故障の原因になり、滑り落ちる危険もあります。アームレストをつかんで、ゆっくりと座ってから（あるいは座らせてから）座面を下げてください。
6．座面が上がった状態で、手などを座面の下に入れると、座面を下げたとき挟まれることがあり、大変危険です。座面を下げるときには座面の下に何も無いのを確認して操作してください。
7．段差や凹凸等のある路面等を走行するときは、前のめりにならないように、注意して操作してください。

８．走行時は座面を一番下に下げてください。座面が少しでも上がった状態だと安定性が悪く、危険です。

９．車いすを折りたたむときは座面を一番下に下げてください。座面が上がった状態でおりたたむと機構部品を傷めることがあります。

１０．車いすを折りたたむときは指を挟まないよう注意して行ってください。

１１．シートベルト付きの場合、走行時は必ずシートベルトを着用してください。シートベルト無しで走行すると、車いすが路上の突起物などに当たったり、溝や段差で急に止まった時に、搭乗者が前に飛び出すことがあります。

１２．介助用に使用する場合は介助用ブレーキが無いと危険です。ついていない場合は後付けができますので、購入店でご相談ください。

１３．クッションを使用する場合は、表面の素材が滑らないものを使用してください。

１４．認知症患者さんを乗せている場合、誤操作による危険を防ぐため、昇降装置を使用しないときはバッテリーコードを抜いてください。

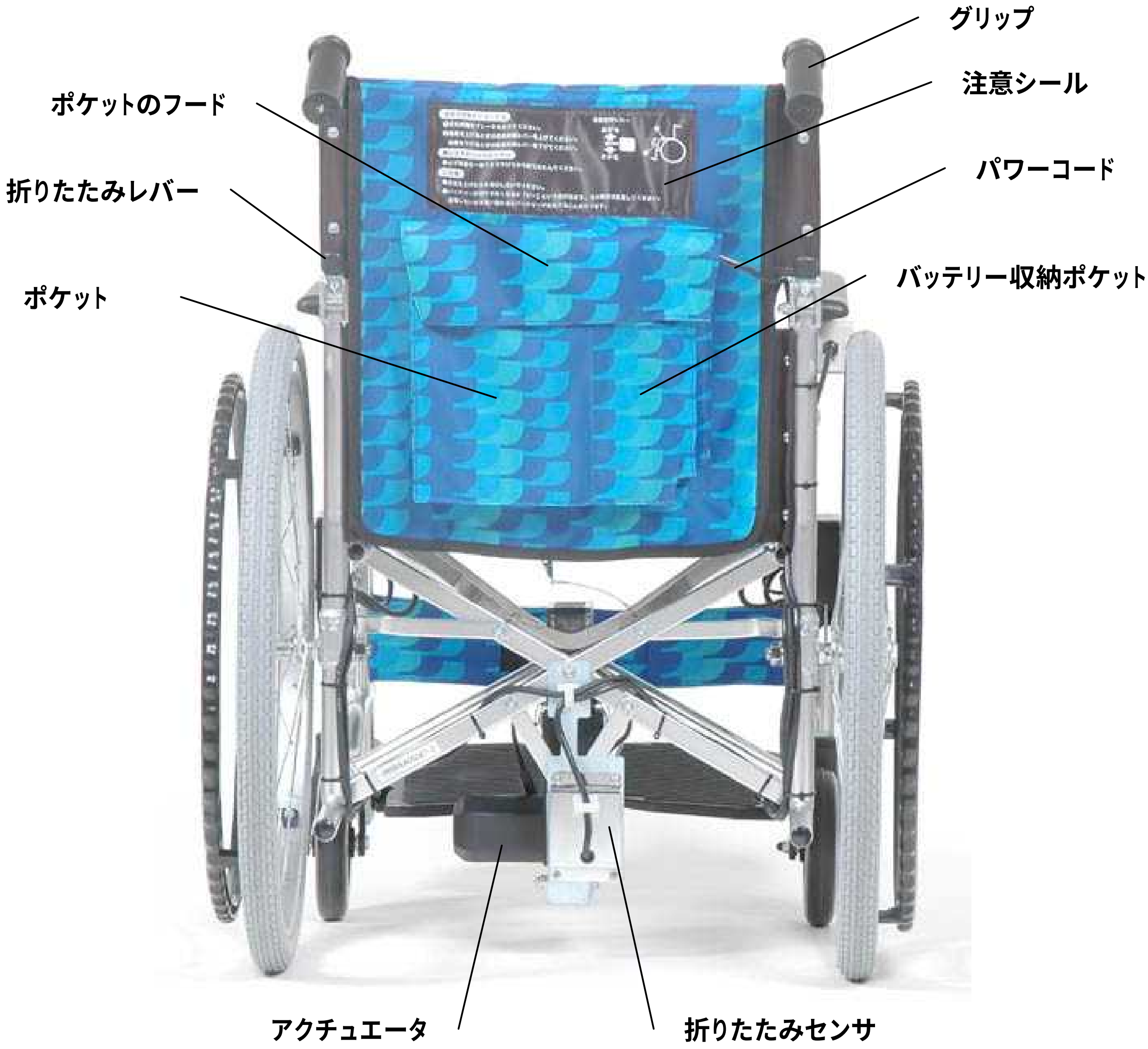
⚠ 注意

1．ハッピーメイトでは、座面とスカートガード（アームレストの下の垂直のプラスチック板）の隙間をできるだけ小さくして、衣類が挟まれないようにしていますが、万一座面昇降時に衣類が引っぱられる感じがあったらすぐに動作を止めて、衣類などが挟まっていないか確認してください。

2．雨の日の走行は機構部が濡れない限りは問題ありませんが、横なぐりの雨が機構部に当たるようなときは使用を控えてください。もし、雨などに濡れた場合は、雑巾などで水分を拭き取ってください。失禁で濡れた場合も同様です。ホースや高圧洗浄機を使った水洗いは漏電の可能性がありますので絶対に避けてください。

2.　本体各部の名称

〔背面図〕



〔付属品〕



リチウムイオンバッテリー



充電器

〔側面図〕



3．安全装置について

ハッピーメイトには、けがや事故を避けるための安全装置を組み込んでいます。これらを理解しておかないと、故障と間違えることがありますので、必ずお読みください。

（1）ブレーキセンサ

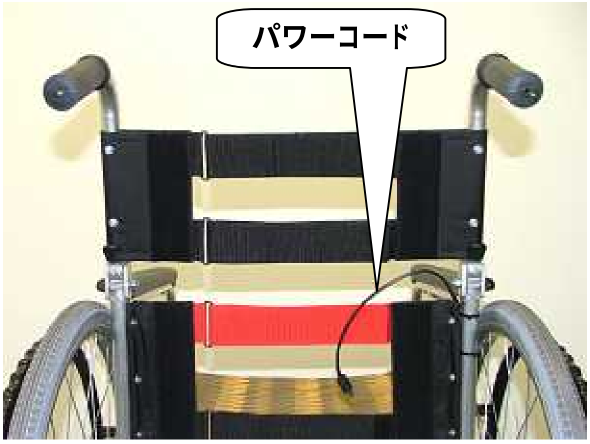
座面昇降装置を作動させるときはブレーキ（メインブレーキ）をかけないと転倒などの危険があります。この危険を防ぐため、ハッピーメイトでは、ブレーキセンサによる電流の遮断回路を設けています。
ブレーキを両方ともかけなかったり、片方しかかけない状態では昇降レバーを操作しても座面昇降装置は作動しません。両方のブレーキをかけて初めて、座面昇降装置は作動するようになります。
なお、グリップ部分にオプションで取り付ける介護ブレーキにはこの機能はありません。座面昇降時は必ず両側のメインブレーキをかけてください。

（2）折りたたみセンサ

車いすを折りたたんだ状態で昇降レバーをうっかり触ったり、昇降レバーにものが当たっても、手をはさんだり部品が損傷しないように、ハッピーメイトには折りたたみセンサを設置し、折りたたんだら、電源を遮断するようにしています。

4．バッテリーの取りつけ方

バッテリーは工場出荷時には、本体と別になっています。
本体は折りたたんだ状態になっていますので、広げて左右のブレーキをかけます。

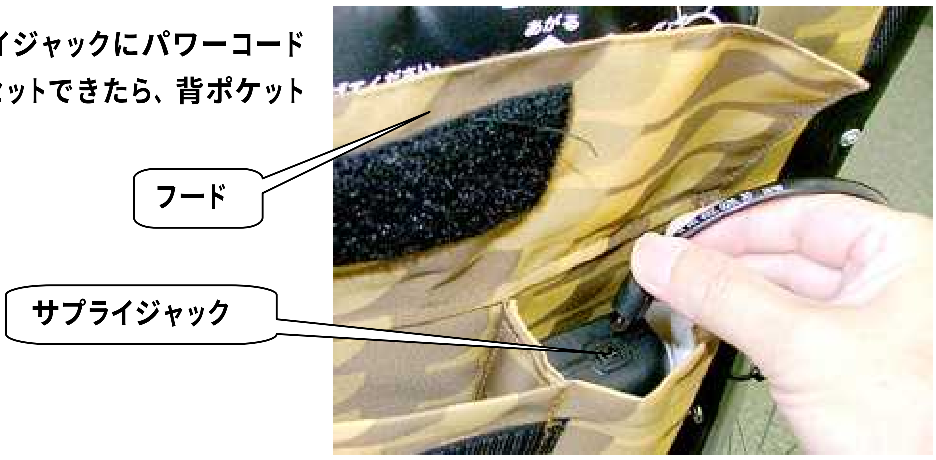


背シートを張った後、背ポケットのフードを上げ、右側の細い方のポケットにバッテリーを収納します。写真（下）のようにバッテリーから出ている充電ジャックを下にしてください。充電ジャックはポケットの下の穴から出すようにします。（コードが曲がって断線するのを防ぐためです）
充電ジャックはバッテリーを外して充電するとき、充電器に接続して使用します。



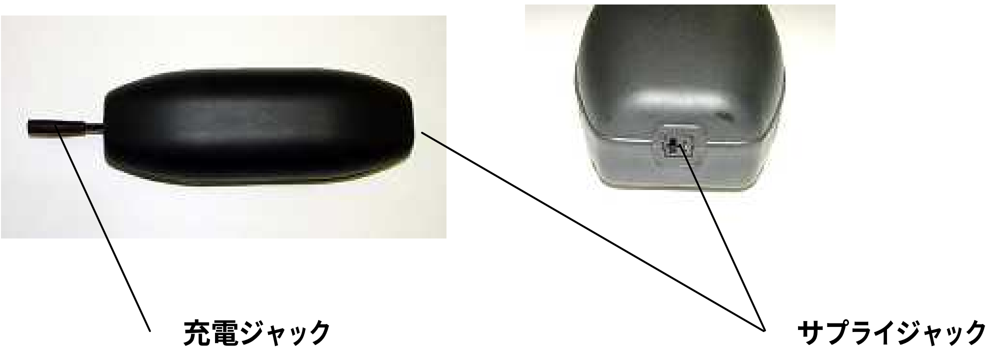


バッテリーの上端のサプライジャックにパワーコードのプラグを差し込みます。セットできたら、背ポケットにフードをかぶせてください。



5. バッテリーと充電について

バッテリーの各部の名称



(1) バッテリーの特性

ハッピーメイトに付属しているバッテリーはリチウムイオンバッテリーです。このバッテリーは、高容量、軽量、継ぎ足し充電が可能などの優れた特性があります。
継ぎ足し充電というのは、電池の容量を使い切っていなくても、充電して、フル充電の状態にできることをいいます。ニッカドバッテリーやニッケル水素バッテリーでは継ぎ足し充電をすると、フル充電にならない欠点がありましたが、リチウムイオンバッテリーは残量を気にせず充電して、フル充電にすることが可能です。

(2) 充電する時



本機付属のリチウムイオンバッテリーはフル充電のとき、座面昇降動作を約 140 回 (体重 50kg の人が使用する場合) 行うと、電気容量を使い切り、ピーという発信音を鳴らし始めます。発信音は昇降レバーを操作してスイッチを入れた状態のときだけ鳴ります。発信音が鳴ったら、すぐに座面を一番下まで下降させ、充電してください。
この状態で座面を昇降させると、2～3回しか昇降できず、座面が下がりきらない状態で止まってしまうことがあります。その状態のまま、走行することは大変危険なので、発信音が鳴り出したら、座面下降のみ行うようにしてください。
万一、下降の途中で止まってしまった場合は、すぐに 10 分程度の充電を行うと、座面を下降させることができます。一番下まで下降させたら、再度バッテリーを外し、通常の充電をしてください。継ぎ足し充電が可能なので、普段から早めに充電することをお奨めします。

(3) 充電のしかた

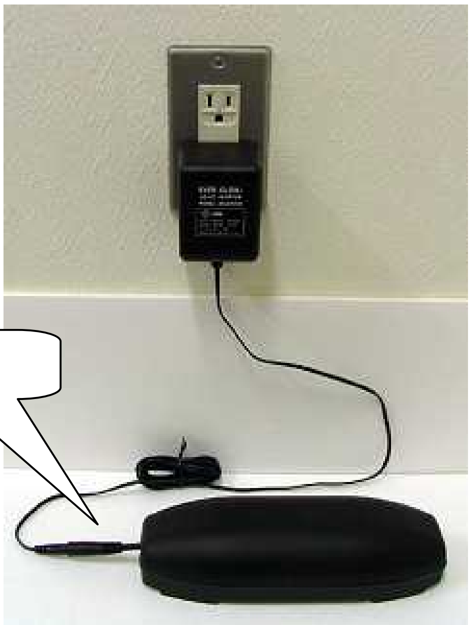
⚠ 警告

1. 専用の充電器やバッテリーを使用してください。
 ・指定以外の充電器でバッテリーを充電しないでください。
 ・指定したバッテリー以外は充電しないでください。
2. 正しく充電してください。
 ・充電器は 100V 専用です。それ以外の電圧では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 ・気温が 0～40℃の範囲で充電を行ってください。その範囲を超える気温で充電すると、破裂や火災の恐れがあります。
 ・気温が 0～40℃の範囲で保管してください。リチウムイオンバッテリーの場合は炎天下の車の中など、相当高温になるところで放置すると、まれに発火事故を起こすことがありますので、日陰に置くなどの注意をしてご使用ください。
 ・バッテリーは換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。火災の恐れがあります。
3. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などがある場所では充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
4. バッテリーを火中に投入する、落とす、強い振動を与える、つぶすなどの行為はしないでください。破裂や火災の恐れがあります。

⚠ 注意

1. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 ・コードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。
 ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
2. 正しく充電してください。
 ・充電器は 100V 専用 (国内仕様) です。外国で使用する場合は変圧器が必要になります。
 ・使用時間が極端に短くなったバッテリーは寿命なので、使用しないでください。

①バッテリーを充電します。充電器から出ている長いコードについているプラグをバッテリーから出ている充電ジャック（短いコードがついたジャック）に差し込み、充電器を電源コンセントに差し込みます。そのまま、１０時間放置すると充電が完了しますので、プラグを外します。
充電完了のサインはありませんので時間を計って外してください。



②充電が完了したら、バッテリーを外し、充電ジャックを下にしてハッピーメイトの背ポケットに収納します。充電ジャックはポケットの下にある穴から外に出すようにします。



③バッテリーの上端にサプライジャックがありますので、折りたたみレバー付近に出ているパワーコードのプラグを差し込みます。セットできたら、背ポケットにはフードをかぶせてください。



リチウムイオンバッテリーの回収にご協力ください。

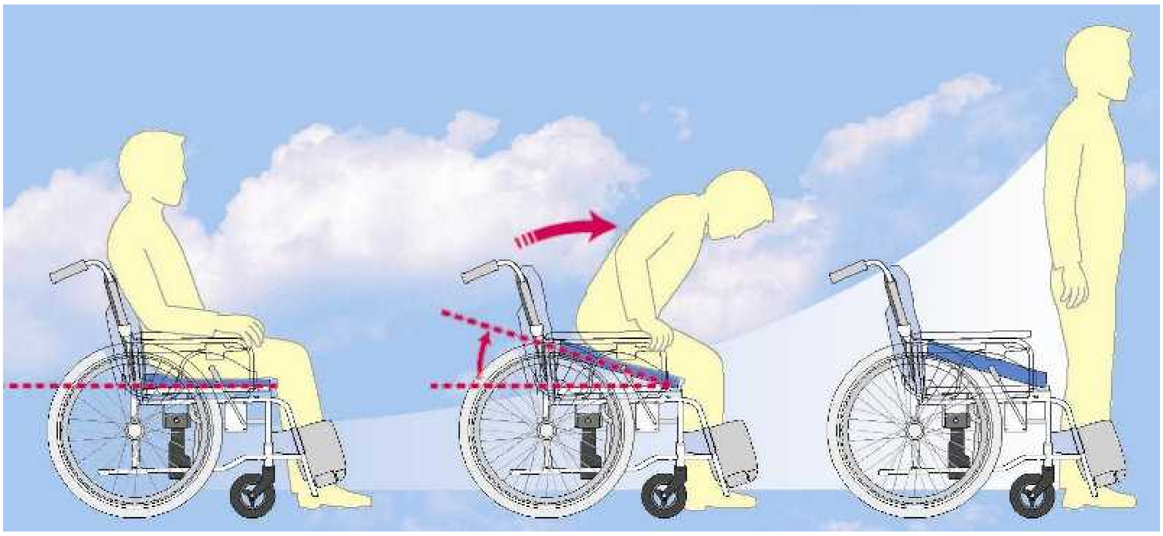
リチウムイオンバッテリーはリサイクルができます。希少資源のリサイクルと環境保護のため、使用済みのリチウムイオンバッテリーの回収を行っています。
不要になったリチウムイオンバッテリーはお買い上げの販売店、または日進医療器営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

6．座面昇降装置の使い方

ここでは座面昇降装置の使い方を説明します。車いすの基本的な使い方は付属の「車いす取扱説明書」をご覧ください。

(1)　ひとりで立つ

①左右両方のブレーキをかけます。
②フットプレートを跳ね上げる（A 型）か、フット・レッグサポートを開く・取り外す等（FO 型）して、両足を床（地面）につけます。立ち上がりやすいよう、かかとを手前まで引いておきます。
③アームレストに両手を置き、座面昇降レバーを押し上げると、座面が上昇し上体が押し上げられて前のめりになっていきます。重心が前の方に移動し、だんだん立ちやすくなります。
④アームレストを手の平で押して立ち上がります。アームレストを押すのが困難な方は、前方に手すりがある場所で、手すりを引くようにして立つことをお試しください。



(2)　ひとりで座る

①左右両方のブレーキをかけます。
②フットプレートを跳ね上げる（A 型）か、フット・レッグサポートを開く・取り外す等（FO 型）します。
③昇降レバーを上げ、座面を一番上まで上昇させます。
④尻を座面に向けて立ち、アームレストに両手を置き、座面にゆっくりと座ります。尻が座面についたら昇降レバーを押し下げて座面を下降させます。

⑶　介護者が支援して立たせる

①左右両方のブレーキをかけます。
②フットプレートを跳ね上げる（A 型）か、フット・レッグサポートを開く・取り外す等（FO 型）して、両足を床（地面）につけます。立ち上がりやすいよう、かかとを手前まで引いておきます。
③介護者は片足を搭乗者の両足の間に置き、搭乗者を抱え上げる体勢になって、昇降レバーを押し上げて座面を上昇させます。
④座面が上がりきったら搭乗者を抱え上げて立たせます。



⑷　介護者が支援して座らせる

①左右両方のブレーキをかけます。
②フットプレートを跳ね上げる（A 型）か、フット・レッグサポートを開く・取り外す等（FO 型）します。
③昇降レバーを上げ、座面を一番上まで上昇させます。
④座らせる人を抱え、座らせる人の尻を座面に向けて、ゆっくり尻を下げていきます。
⑤尻が座面についたら昇降レバーを押し下げて座面を下降させます。



⑸ 座面昇降の微調整により座り疲れを軽減する

・車いすに長時間同じ姿勢で座り続けると、座り疲れしたり、蓐瘡（じょくそう）になる場合があります。
・時々昇降レバーを少し動かすことで腰の角度を微調整すると、血行を良くし、座り疲れや蓐瘡の予防に役立ちます。
・座面をあまり高くしないで、水平に近い状態で微調整してください。
・移動する場合は座面を一番下まで下げてください。



7. 広げ方、折りたたみ方

ハッピーメイトの広げ方、折りたたみ方は普通の折りたたみ式車いすと同じです。

(1) 広げ方





ブレーキがかかっているのを確認します。
座面の両端をシートの上から片手づつ押さえ、たたんである車いすを押し開くように体重をかけます。



広がってきたら、下方向に体重をかけ、カチンと当たりを感じるまで座面を広げてください。
座面が開ききったら、使用可能です。

⚠ 警告	手をシートの両側に挟まれないよう気をつけましょう。

(2) 折りたたみ方

ブレーキがかかっていることを確認します。
座面が一番下まで下がっていることを確認します。

⚠ 注意	座面を上げた状態のまま折りたたむと、部品が変形して故障の原因になります。

座面のシートの前後の中央を写真のように両手で持ち上げます。





シートを引き上げると、車いすがたたまれていきます。



両側のグリップを持って押さえ込みます。



運ぶときはこのようにハンドリムを持って抱えます。

8．オプションについて（オプションは別売です）

（1）　介護ブレーキ



介護用に使用するときは必ず装着してください。介護者がブレーキをかけられるよう、グリップ部分にレバーを、車輪にブレーキを設置します。
ストッパーつきのものは、手を離してもブレーキが有効なので安全です。

（2）　シートベルト



なるべくシートベルトがあった方が安全です。シーベルトをしていないと、走行中車いすが路上の突起物などに当たったり、溝や段差で急に止まった時に、搭乗者が前に飛び出すことがあります。

（3）　滑り止めシート



座面を上昇させると、搭乗者が衣類の材質によっては滑り落ちる場合があります。クッションを使用しているとかなり防ぐことができますが、滑り止めシートを用いると、より安全です。

（4）　防塵カバー



土ぼこりや砂塵の多い戸外で頻繁に使用する場合、機構部に砂などが侵入して故障の原因になることがあります。防塵カバーはアクチュエータをゴム製のジャバラで覆うため、このような故障を防止することができます。

（5）　バッテリー

予備のバッテリーがあると、安心です。

（6）　電動走行ユニット（ヤマハ JWX-1）

車輪の中心部にモーターを内蔵しており、手で漕がなくても電動で走行します。操縦はジョイスティックで行います。バッテリーは充電式です。



そのほか、日進医療器ではさまざまなオプションを用意しています。車いす販売店または日進医療器営業所にご相談ください。

9．不具合を感じたときは

不具合を感じたときは、修理を依頼する前に以下の項目を調べてみましょう。
それでも、直らない場合や、該当するものがない場合はご購入店または日進医療器営業所にご相談ください。

不具合の状況	チェックしましょう	対応方法
昇降レバーを操作しても座面が動かない。	メインブレーキはかかっていますか。	メインブレーキを両側ともかけます。介護ブレーキのストッパーをかけても、メインブレーキをかけないと座面は動きません。
	バッテリーは充電されていますか。	バッテリーを外し、充電します。
	バッテリーにパワーコードが接続されていますか。	バッテリーにパワーコードを接続します。
座面が下まで下がりきらない	座面の下に何か挟まっていませんか。	挟まっていたら、取り除いてください。（けがをしないよう注意しましょう）
	バッテリーが消耗していませんか。	バッテリーを充電します。
座面を上げるとお尻が滑る。	クッションを敷いていますか。	クッションを敷いた方が滑りにくくなります。滑り止めシートを取り付けるとさらに滑りにくくなります。
うまく折りたためない。	座面を一番下まで下げましたか。	もう一度広げて、座面を一番下まで下げてからたたんでください。
ブレーキが効かない	タイヤの空気圧が低下していませんか。	タイヤに空気を入れます。

＜修理･保証書について＞

パンクなどの簡単な修理は、基本的に販売店で行います。車いす本体一部の破損、アクチュエータなど機構部品の故障など、メーカーでないと修理できない場合は日進医療器株式会社にて修理いたします。
保証期間は１年間、それ以降は有償です。
保証期間中の修理に関しましては、添付の車いす取扱説明書の最後に付いている品質保証書が適用されます。

NISSIN 日進医療器株式会社

本　　社　〒481-8681　**愛知県北名古屋市沖村権現**35-2
TEL <0568>21-0635(**代**)　FAX<0568>23-2787

東京営業所　〒112-0002　**東京都文京区小石川**1-21-14
TEL<03>3814-0923(**代**)　FAX<03>3814-4644

大阪営業所　〒533-0013　**大阪府大阪市東淀川区豊里**6-16-10
TEL<06>6323-8265(**代**)　FAX<06>6326-2554

九州営業所　〒812-0876　**福岡県福岡市博多区昭南町**2-3-8**つるまる堂ビル**1F
TEL<092>513-5036(**代**)　FAX<092>513-5038

東陽事業部　〒452-0901　**愛知県清須市阿原北野**13**番地**
TEL<052>401-2741(**代**)　FAX<052>401-2751

1-5/ 2008.2.8